

令和7年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	郷土料理体験ボランティア
2	実施社会福祉協議会	小鹿野町社会福祉協議会
3	協力団体	
4	活動年月日	令和7年8月20日
5	活動場所	小鹿野町般若の丘・いきいき館
6	内容	郷土料理かてめしとまんじゅうづくり

7 活動の様子

【実施目的】

秩父地方に古くから伝わるかてめしとまんじゅう。食べたことはあっても作る機会はないことから、一から作ることでなぜ伝えられているかを知ってほしい。



普段からお手伝いをしているようで、学生さんはとても手際よく作業を進めます。まんじゅうの皮を伸ばすのも上手にできます。



蒸しあがったまんじゅう



できあがり

【参加者の感想】

- 作ったことのないものを自分たちで作って食べることができて、良かったです。その日の状態で分量通りに計っても、調節が必要なことがあるんだとわかりました。
- 料理をするときには、分量をきちんと量ってやるものと思っていたが、昔の人は、目分量で美味しく作っていたと聞き、びっくりした。
- みんなで一緒に作ったからできたけど、家でも作れるといいなと思いました。

令和7年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	炊き出し訓練ボランティア
2	実施社会福祉協議会	小鹿野町社会福祉協議会
3	協力団体	小鹿野町赤十字奉仕団
4	活動年月日	令和7年8月6日
5	活動場所	小鹿野町般若の丘・いきいき館
6	内容	ハイゼックスを使った炊き出し

7 活動の様子

【実施目的】

ハイゼックスを使っての炊き出し訓練。ハイゼックスの周知と、使用することで様々な工夫次第で調理ができるという事を知ってもらうため。



学生と奉仕団の皆さんと一緒に作業しています。奉仕団の皆さんは手慣れた手つきで学生に指導しています。



茹でている様子



できあがり

【参加者の感想】

- ・災害は起きないことが理想だけど、今後災害などが起きたときには、今日のことを思い出して、生かしていきたいです。
- ・災害が起きたときには、今回のような活動が少しでも出来たらいいなと思いました。
- ・ハイゼックスという特殊な袋があって、食事ができると思わなかった。市販の袋でもできるものもあると聞き、全然知らなかった。

令和7年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	お手玉作りボランティア
2	実施社会福祉協議会	小鹿野町社会福祉協議会
3	協力団体	お手玉サロンのみなさん
4	活動年月日	令和7年8月5日、7日、19日、21日
5	活動場所	小鹿野町長寿ハウス
6	内容	お手玉を作り、昔の遊びを継承する

7 活動の様子

【実施目的】

昔からの遊びとしてある「お手玉」を作り、作り方や遊び方を若い世代に継承していく。また、地域の高齢者（お手玉サロンのみなさん）との交流を深めていく。



学生一人にお手玉サロンの方が一人つき、丁寧に教えてもらいます。みんな本気で作っています。



実際に作ったお手玉

【参加者の感想】

- 昨年も参加して、楽しかったから今年も参加しました。色や柄を選んで合わせるの難しいけど、きれいな仕上がりになってよかった。
- お手玉を作るだけじゃなく、色々な人と話ができて良かった。
- 細かい作業は大変だったけど、とてもかわいいお手玉を作ることができてうれしいです。地域の方とも交流できて、良い経験になりました。
- 家でも作ってみたいと思いました。

令和7年度彩の国ボランティア体験プログラムレポート

1	プログラム名	ボッチャを体験しよう
2	実施社会福祉協議会	小鹿野町社会福祉協議会
3	協力団体	
4	活動年月日	令和7年8月4日、8月14日
5	活動場所	小鹿野町けんこう交流館
6	内容	パラリンピックの正式種目のボッチャを体験する

7 活動の様子

【実施目的】

ボッチャは年齢・性別・障害のあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツとして、パラリンピックの正式種目にもなっている競技なので、この機会に体験してもらいたい



車いすに乗車したままで、ボールを投げるのは、思うところに投げられず、とても難しかったようです。
自分の足で立てることはすごいことなんだと話した子もいました。



【参加者の感想】

- ・力加減がわからず、アウトボールになることが多かったけど、やっていくうちに作戦が立てられるようになった。
- ・思ったよりも頭を使うスポーツだと思った。